

木材のカスケード利用、その究極の形のひとつ。

- ★1 扱う木材はすべて国産材。伐った場所・人の分かる丸太を仕入れ、製材することでトレーサビリティの確認が可能です。
- ★2 建築・家具材として利用できない木材をチップ化。
- ★3 チップ燃料を熱源とした乾燥機で木材をじっくり乾燥させていきます。
- ★4 木材を仕上げる際に出るカンナ屑を原材料とした木質ペレット。木が持つ成分を活かし、圧縮することで成形しており、接着剤などの薬剤は一切使用していません。
- ★5 木を余すことなく使いきるために生まれたオリジナルの家具や木工品は「節」「木目」「色味」も個性となるようすべて手仕事によりつくられています。

すべて目で追える生産体制により、森林循環を活性化させ、未来を担う人材の育成、環境にも負荷をかけず、廃棄物をださない取り組みに全力で取り組んでいます。

ペレット製造事業や木材乾燥事業、木質バイオマス発電事業などを行う宝来工場がこの度、誕生しました。土砂災害防止などの役割果たす健全な森林環境保全のためにも「伐って・使って・育てる」森林の循環を推進していくことが必要です。工場内では木材のカスケード利用、木材の副産物利用・残材利用の流れを辿ることのできる自社一貫体制をとっています。



定点カメラが追う！ ～ペレット原料乾燥棟完成まで～



宝来工場、
まもなく完成！

1 2
3 4
5 6

- 1 工場の入口でお客様をお迎えするのは、旧幼稚園園舎を改修し、新たに生まれ変わった事務所棟です。弊社くりはら加工場もこちらへ引っ越しました。
- 2 フリーアドレス（自由座席）制を採用した事務所スペース。壁・床に無垢のスギ材を使用した、ほっとするような温かみのあるお仕事スペースです。
- 3 窓際のカウンター席は、外の景色を眺めながら仕事ができる特等席。コーヒーを飲みながらカフェ気分も味わえます。
- 4 巾剥ぎ材製造棟の天井に架けられた太い梁（はり）。建物の強度を高めるために、一部の棟ではこんなに太いタイコ梁も使われています。一番太いところでは幅が40cm以上もあるそう！
- 5 6 工場内を歩くと、材料を空気で送る「空送」のシルバーの配管が目に入ってきます。木材を仕上げる際に出る木くずを乾燥設備へ空送する配管、乾燥させた木くずをペレット製造棟へ送る配管です。ペレット製造棟へ送られた木くずが圧縮加工されて、最終的にペレットストーブの燃料「木質ペレット」になります。余すところなく木を活用するために、この工場では木が空を飛んでいるのです。

山や田んぼに囲まれ、栗駒山を遠くに望む、栗原市栗駒 旧宝来小学校、宝来幼稚園跡地。ここが株式会社・CHPの新工場「宝来工場」です。サステイナライフ森の家では今回、工場8棟の新築と、旧幼稚園の園舎を再利用した事務所棟の改修を施工しました。弊社の特色である木造にこだわり、材料には可能な限り自然素材を使用した工場です。今回は、完成したばかりの宝来工場の一部を写真でご紹介します。